



工高タイムス

北海道旭川工業
高等学校新聞局
〒078-8804
北海道旭川市緑が丘
東4条1丁目1-1
発行人(局長)
稲留 駿斗
(電気科3年)

生徒総会

活発な意見飛び交う アイス販売の検討を継続

生徒総会が5月12日7時開会し体育館で行われた。各クラスの原案審議は4月22日のLHRで行われ、生徒総会で6クラスから15の質問と要望が出された。それぞれについて生徒会長の澤田宙陽君(電3)と各委員長が回答した。各議案はすべて承認された。



質問に答える澤田宙陽会長

生徒総会で6クラスから出された要望は「アイスの自動販売機を設置してほしい」「夏季にジャージでの登下校を認めてほしい」「教科書を学校に置きたい」「普通のクーラーを設置してほしい」など。

担当が少ないと思う」「学校に教科書を置くことについては「盗難・紛失時の責任がとれないため難しい」、クーラーの設置については「新たな設置には時間を要するため、他の方法で暑さに対処してほしい」と答えた。

建築科

3位以内を目指す ペースを保って作業を

建築科は6月27、28日に釧路工業高校で行なわれる第26回高校生ものづくりコンテストの予選に参加する。今年のものづくりの練習は3月から始め、大会直前は週3回のペースで放課後に18時まで行っている。萩原君は「昨年の課題に比べて金属管を曲げる工程がと

と増えているが落ち着いて曲げていきたい。今回はVVFと呼ばれるケーブルを板から浮かせずに貼り付けるので慎重な作業を心掛けたい。また自分の身長より高い所での作業があるので、体力を温存して作品を完成させるよう頑張りたい。また吹奏楽と並行して練習するためどちらにも影響が出ないように頑張りたい。昨年度全国大会に出場したので、難なくこの大会を乗り切りたい」と語った。



ケーブルを取り付ける萩原君

と増えているが落ち着いて曲げていきたい。今回はVVFと呼ばれるケーブルを板から浮かせずに貼り付けるので慎重な作業を心掛けたい。また自分の身長より高い所での作業があるので、体力を温存して作品を完成させるよう頑張りたい。また吹奏楽と並行して練習するためどちらにも影響が出ないように頑張りたい。昨年度全国大会に出場したので、難なくこの大会を乗り切りたい」と語った。

壮行式

優勝してきて 前日にリハーサルを



陸上部部長の高松優太君(化3)

壮行式が5月1日の3時間目に体育館で行なわれた。11の運動部と放送局、ものづくりコンテストに出場する各部の部長と出場者が抱負や意気込みを語った。壮行式を担当した生徒会書記長

の佐藤拓海君(化3)は「生徒の皆さんの協力で整列するのに時間がかからなかったこともあり、スムーズに進行できた。改善点は司会をするのに詰まってしまう点と滑舌を良くする点。全体としては校歌を歌うときに全校生徒起立と言ったが、選手が立たなかったのが指示の仕方を直したい。拍手が終わってから3秒で話し始めるのをすぐに話してしまったので気を付けたい。今後は前日にリハーサルをしたい。出場する選手には優勝してほしい」と語った。

望みに対しての回答を事前に生徒会役員で打ち合わせしたことで、本番ではスムーズにいった。アイスの自動販売機設置は厳しいが、実現に向けて検討していく」と話した。

議会議長の細川大翔君(土3)は「議事進行が円滑に進み、滞りなく総会を進められた良かった」と語った。

佐藤来珈さん、補欠で3年生の安芸綺花さんの3人が出場する。競技内容は制限時間3時間以内で木材を加工して作業馬を作る。作品の奇麗さや線の汚れなどが審査される。練習は平日2時間半、大会近くは休日も6時間行なう。朝比奈さんは「大会ではあわてず自分のペースを失わずに頑張りたい。今は時間内に図面作成と加工作業が終わるように練習している。継ぎ手のアリの言われる台形の形を

した突起や溝の加工が苦手でなので特訓している。3位以内を目指したい」と話した。佐藤さんは「練習では原寸図の図面書きや墨付け、ノコギリやノミなどを使って製材された木材の加工をしている。木材加工は得意分野ではないが、着実に技術を身に付けていける。指導してくれる先生方への感謝を忘れずに大会に臨みたい。一定のペースを保って作業を続けることが苦手なので、失敗したときでも素早く気持ちを切り替えることを意識して頑張りたい。大会は2年生だけでなく3年生も出場するので、その中でも1位を取れるように練習に励んでいきたい」と語った。

補欠の安芸さんは「今回は補欠としての出場なので、昨年出場した全国大会での経験を生かして皆にアドバイスを加していきたい」と話した。(化2長野)

ものづくりコンテスト

電気科 金属管工事を丁寧に 2度目の全国大会を

電気科3年生の萩原優月君が5月20、21日に旭工で行われる第26回高校生ものづくりコンテスト全国大会北海道ブロック大会電気工事部門に出場する。大会は実技のみで配られた木板に電気配線を設置

する工事を制限時間内に行う。工事の速さと丁寧さが重視される。持ち点100点から減点方式で採点され、金属管を適切に曲げていないと減点の対象になる。萩原君は昨年に続いての出場で吹奏楽の活動



工具箱

ゴールデンウィークは何をやっても楽しい最高の連休だった。数年ぶりに会った幼なじみと食事に行ったり、友達とゲームをしたりして、楽しい思い出ができた。その中でも私がゴールデンウィーク中で一番楽しかったのは、5月5日にパークランド嵐山で開催されたサバイバルゲームに参加したことだ。サバゲーとはエアソフトガンとBB弾、ミリタリーの装備を用いて撃ち合いをする遊びだ。様々な遊び方があり、基本はヒットしたら自己申告で退場するルールで、制限時間内でのフラッグ奪取や全滅を目指すシンプアルなゲームが最も人気だ。サバゲーの魅力は圧倒的な非日常感とスリルを味わえる点だ。ミリタリーの装備に身を包み、リアルなエアソフトガンを持って、味方の指示を聞きながらフィールドを駆け回る時間はFPSゲームのキャラクターになった様な気分になることができる。次に戦術とチームプレイが求められる点だ。サバゲーは適度に撃ち合うだけではすぐにヒットされて、試合の敗北につながってしまう。それを回避するためにどのようなルートで攻め、いかに相手の意表を突くかを仲間と考える必要がある。そして見た目を追求することが可能のも魅力だ。エアソフトガンを自分好みにカスタマイズしたり、実際の軍隊の装備を再現するのも面白い味の一つだ。次回からは威力の高いエアソフトガンを使うサバゲーに参加したい。

企業説明会

仕事内容や特徴を知る

必要な資格を取得する

26社が来校した企業説明会が5月7日に各学科で行なわれた。卒業生から仕事の内容や会社の雰囲気、福利厚生などを聞いた。3年生と2年生から感想やこれから取り組んでいきたいことを聞いた。

工業化学科

将来の幅を広げる

面接で7〜8割決まる

工業化学科は2、3年生が工業化学科製図室で三井化学(株)市原工場や出光興産

(株)北海道製油所など4社の卒業生から説明を受けた。稲場優太君(3年)は「会社の福利厚生や有給が取りやすいのが印象に残った。三井化学(株)市場工場の寮には共同の風呂やトイレがあり、自分で掃除をしなくても良いと感じた。このような企業に就職したいと思った。卒業生の新野友也さんは『就職試験では面接で7〜8割が決まる。面接練習は今からでも遅くない』と話していたので面接練習



出光興産(株)の鈴木琉生さん

土木科

仕事のやりがいを知る

働きやすい環境の会社に

土木科は2、3年生が土木科製図室で(株)橋本川島コーポレーションや(株)生駒組など6社の卒業生から説明を受けた。

教えてもらった。道内の道路関係の企業に就職したいので資格取得を積極的に行ないたい」と話した。

沼岡芯喜君(3年)は「土木会社の特徴や仕事の詳しい内容、やりがいなどを細かく

坂田晴紀君(2年)は「人手不足を補うためにICTや3Dモデル、ドローンなどのハイテク機械を使っているこ

情報技術科

コミュニケーションが大切

もっと勉強を頑張る

習を頑張りたい」と話した。川村寿輝君(2年)は「会

情報技術科は1〜3年生が大会議室で住友電気工業(株)横浜製作所、(株)ブルーデー

タ、フルテック(株)旭川支店、(株)日立製作所の4社の卒業生から説明を受けた。



(株)ブルーデータの原穂乃華さん

とを知った。また、安全確認や体調管理をとても大切にしていることが分かった。社員旅行やメンター制度など、働きやすい環境づくりをしている



(株)生駒組の平林陸さん

建築科

人間関係を築く能力を

施工管理技士補を目指す

建築科は2、3年生が建築科製図室で鹿島建設(株)、荒井建設(株)、(株)田中

組、伊藤組土建(株)の4社が来校して卒業生から説明を受けた。

サービスをしている。説明を聞いて仕事では知識だけではなく、他の人とのコミュニケーションも大切だと分かった。将来は道内でIT関係の仕事に就職したいので、もっと勉強を頑張りたいので、もっと勉強を頑張りたい」と話した。

野内海成君(3年)は「鹿島建設(株)では溶接ロボットを遠隔で操作するなど作業



(株)田中組の森井洸多さん

電子機械科

社会貢献できる企業

溶接技術を身に付ける

電子機械科は2、3年生がCAD実習室で(株)IHIや大洋設備(株)、トヨタ自動車北海道など4社の卒業生から説明を受けた。

上森謙太郎君(2年)は「航空機のエンジンが3か月もの時間をかけて製造され、世界の航空を支えていると聞



(株)IHIの佐藤隼人さん

電気科

進路選択に生かす

電気工事士の勉強する



(株)関電工の宮崎祐人さん

電気科は2年生が電気磁気実習室で、3年生が自動制御実習室で富士電機(株)千葉工場や(株)関電工北海道支店、日本オーチス・エレベータ(株)、(株)ドウデン旭川支店の4社の卒業生から仕事内容や会社の特色などについて説明を聞いた。

の効率化を図っている。(株)田中組では現場監督の仕事として作業が計画通りに進んでいるかを確認していると聞いた。進学希望だが、進学後に建設会社に就職するかもしれないので、建築関係の資格として二級建築施工管理技士補取得を目標に勉強している。企業の説明を聞いて日々の生活態度を旭工生の模範となるようにしたい。また、学習成績の向上を心掛けたい。部活動やアルバイトをすることによって、高校生のうちに礼儀や人間関係を築く能力を得たい。就職先は多様で色々な働き方があると知った。人生の決断に関わるため慎重に決めたい」と話した。

小西輝君(2年)は「資格の取得とコミュニケーション能力の向上、人間関係を深める、部活動を続けることが大事だと聞き、とちもためになつた。道内に就職しようと思っ